

平成28年教育委員会 第8回定例会

- 1 日 時 平成28年10月5日(水) 18時30分
- 2 場 所 教育委員会庁舎3階 第1会議室
- 3 出席委員 林教育長、末永委員、笹谷委員、小澤委員、荒田委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席職員 教育部長、教育部次長、教育部副参事、学校教育支援室長、学校教育支援室主幹(指導担当)、学校教育支援室主幹(学務担当)、学校教育支援室主幹(適正配置担当)、教育総務課長、教育総務課総務係長、教育総務課総務係(書記)
- 6 傍聴人 なし
- 7 議 題
 - 議 案 第1号 小樽市立学校に入学する学齢児童及び生徒の学校指定に関する規則の一部を改正する規則案
 - 報 告 第1号 公立高等学校配置計画(平成29年度～31年度)及び平成29年度公立特別支援学校配置計画について
 - 報 告 第2号 小中学校の学校再編について
 - 報 告 第3号 平成28年度全国学力・学習状況調査結果等について
 - その他
 - ・市議会第3回定例会について
 - ・寄附採納について
- 8 開 会 18時30分 閉 会 19時44分
- 9 議 事

林教育長 ただいまから、教育委員会第8回定例会を開催いたします。

報告第3号について「平成28年度全国学力・学習状況調査」の結果が出ましたので、報告をいたしますが、会議規則第18条第1項第5号により非公開とし、議事録については結果のみ記載することとし、最後に審議をしたいと思っております。よろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、そのように進めさせていただきます。
それでは、議案第1号の説明をお願いします。

議案第1号 小樽市立学校に入学する学齢児童及び生徒の学校指定に関する規則の一部を改正する規則案

学校教育支援室主幹（学務担当） 議案第1号「小樽市立学校に入学する学齢児童及び生徒の学校指定に関する規則の一部を改正する規則案」について、説明いたします。4枚目の一部改正規則案の概要を御覧ください。

この規則案は、平成30年3月末に緑小学校、最上小学校、入船小学校及び天神小学校が閉校し、統合校を花園小学校、山の手小学校、奥沢小学校とすることに伴い、それぞれの校区を定めるものであります。それぞれの校区図は、次のページ以降、別図1から3となっております。施行期日は、平成30年4月1日ですが、昨日の市議会で、緑小学校、最上小学校、入船小学校及び天神小学校の廃止と、山の手小学校の新たな設置に係る「小樽市立学校設置条例の一部を改正する条例案」が可決されましたので、本日の定例会でこの規則案を提案したものであります。

以上、御審議のほど、よろしく願いいたします。

林教育長 はい、ありがとうございます。

それでは、議案第1号に関しまして、御意見・御質問等ありますか。よろしいですか。

各委員 （異議なし）

林教育長 それでは、議案第1号これで終了し、このとおり決定させていただきます。

続きまして、報告第1号の説明をお願いします。

報告第1号 公立高等学校配置計画（平成29年度～31年度）及び平成29年度公立特別支援学校配置計画について

学校教育支援室主幹（学務担当） 報告第1号「公立高等学校配置計画（平成29年度～31年度）及び平成29年度公立特別支援学校配置計画」について報告いたします。

お手元の資料の、平成29年度から31年度までの公立高等学校配置計画と、平成29年度公立特別支援学校配置計画を、9月6日、道教委が、6月に公表した案のとおり、決定いたしました。内容につきましては、先の教育委員会第6回定例会で御報告したのから変更はございませんので、説明は省略させていただきます。

なお、第6回定例会において委員の皆様から様々な御意見をいただきましたが、まず、生徒の進路選択に支障がないよう、新設校の具体的な情報を早めに出してほしい、という御意見につきましては、遅くとも来年開催される学校説明会には、大まかな内容が示されるものと考えていますが、早期に公表されるよう引き続き道教委や統合検討委員会に働きかけてまいります。また、平成32年度から35年度の間口調整が単純な数の調整にならないように工夫してほしい、という御意見につきましては、7月19日に開催された

第2回公立高等学校配置計画地域別検討協議会において、教育部長から、間口の調整について地域の必要な教育の在り方も含めた慎重な検討を道教委に要望したところです。

報告は以上です。

林教育長 それでは、報告第1号について、御意見・御質問等ありますか。

小澤委員 この内容そのものはいいのですが、関わって聞きたいことで、職業高校の商業科と工業科、2つ合わせるところの単位制という、この単位の互換性というのは、例えば商業科同士の互換性、それから以前の工業科同士の今度新しくできる2つの科の互換なのか、それとも商業も工業も全ての互換になるのか、あるいは、普通高校の大学進学目指して普通課程の大学のものを含めたような単位制になるのか、今まだ決まっていないのかもしれないですが、道教委のデータを見ましても普通科高校の単位制のことについては、出ていると思うのですが、今回はそういう面でどうなるのかな、と。

林教育長 そうですね。職業高校が初ですから、そこら辺は悩んでいるところだとは思いますが、(学校教育支援室)主幹の方から何かありますか。

学校教育支援室主幹(学務担当) 今のところまだ具体的な部分についての話は、検討委員会の方からは示されていないのですが、この後、具体的に段々その部分が見えてくるかと思しますので、もう少し時間が必要なのではないかと思います。

林教育長 例えば、市教委の市としての要望の中に、大学進学を目指すことのできる学校にもしていきたい、という話をしているのですが、それに関しては、通常、職業高校の場合は普通科といわれている教科の単位よりも相当少なくして、その分実習の単位を多くするというのが普通です。そこで例えば大学進学すると生徒さんが希望するのであれば、その学科にも抛りますが、例えば語学あるいは数学や理科など、工業系の生徒は主に理数関係になるかもしれませんが、そういう単位を取れる仕組みもこの単位制の特徴でもあるので、そういう取り方が出来るのと、あと商業科の中で、教科としてできるかどうかは別として、ガラス工芸をやってみたいと要望があれば、その部分だけ単位を取り、将来そちらの方に進路を進めたい、という生徒も中には出てくる可能性もあるので、いろいろな角度から、今検討していただいているところですが、なかなか初めてのことなので、相当難しそうですね。学校でもいろいろと議論が活発に行われていると聞いていますので、そこら辺がどういう風に作っていいのかというところが、現実的に大変で学校では悩んでいるようです。そうかといって、今まで取れていた資格を取れないようでは困りますので、やはり技術者、ものづくりに関する資格を持って就職したい、という生徒さんも当然ながらいらっしゃいますので、そういうところにも対応できる形というのが必要になるかと思っていますので、学校にはすごく贅沢なお願いをしているところですね。

はい、よろしいでしょうか。

笹谷委員 少し重なる話にはなるのですが、30年度開設ですので、来年度になるともう中学3年生が受験する学校の話ですから、出来るだけ早くという話がありましたけれども、この学科を聞いただけ、単位制ということを両方合わせても、なんとなく分かったような分からないような、子供たちからしてみれば、どんな学校だかわからない状態で受験することになってしまいますので、できれば、どんな勉強ができるのか具体的な中身までわかると子供たちも選択しやすいのかなと思うので、是非是非受験生のためにも1日も早く公開していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

林教育長 そうですね。学校とか道教委とも調整していきたいと思います。

末永委員 道教委が動かないと、何もできないですからね。

林教育長 まあ、そういうところもありますので、直接いろいろと言っていきたいと思います。他にございませんか。

荒田委員 いや、本当に中学2年生の今の時期になってということを考えると・・・

笹谷委員 遅い。

林教育長 遅いですね。

荒田委員 もう情報がほしいと思いますね。桜陽と潮陵は従来のものでわかりますけれども、他の学校もそうですけれども、なるべく早いうちにわかることを願っています。

林教育長 そうですよ。来年の夏とか言わないで、出せる情報が出来たらどんどん出して、やってもらって、そういうようなところも含めて、ちょっとそういう御意見があったということで、お願いします。

学校教育支援室主幹（学務担当） 改めて、要望していきたいと思います。

林教育長 他にございませんか。よろしいですか。
それでは報告第1号を終了させていただきます。
次に報告第2号の説明をお願いします。

報 告 第 2 号 小中学校の学校再編について

学校教育支援室（適正配置担当） 報告第2号 小中学校の学校再編について、御報告いたします。
報告第2号を御覧ください。統合協議会関係としまして、まず、緑小学校・最上小学校・入船小学校統合協議会関係ですが、9月29日に第3回学校づくり部会が開催されました。新

しい学校づくりに向けて、まず、統合校の新しい学校づくりの考え方について、これまでの部会での検討内容を踏まえ、山の手小学校のコンセプトや特色ある取組の方向性について協議し、部会案をまとめたところです。また、今回の部会では、今後、統合校の教育目標なども検討しますので、教育目標の位置づけや、設定の要件及び視点などについて共通認識の醸成を図ったものであります。

次に、入船小学校・奥沢小学校・天神小学校統合協議会関係ですが、9月26日に第3回学校づくり部会が開催されました。こちらの統合協議会では、すでに統合奥沢小学校のイメージをまとめており、3月の定例会で報告しております。今回の部会では、今後、統合校の教育目標なども検討しますので、教育目標の位置づけや、設定の要件及び視点などについて共通認識の醸成を図ったものであります。

次に、北山中学校・末広中学校統合協議会関係ですが、9月14日に第6回統合協議会が開催されました。まず、3つの部会からそれぞれ部会報告がありました。「校名・校歌・校章に関する部会」からは、校歌の作曲者を選考したこと、また、校歌の歌詞と校章デザインの応募結果として、歌詞は37作品、校章は34作品となったこと、部会で作品の選考を行い、部会案をとりまとめたことが報告されました。「学校づくり部会」からは、北陵中学校の新しい学校づくりに向けて、教育目標や具体的な取組について部会案をまとめたことが報告されました。「学校支援部会」からは、通学の安全確保及びPTA組織づくりの検討状況が報告されました。2ページ目ですが、協議事項として2点、まず、校歌の歌詞及び校章デザインについて協議し、部会提案の作品をそれぞれ採用することが了承されました。もう1点、新しい学校づくりについて協議し、これらも部会提案が了承されております。

資料を添付しておりますので、御覧ください。資料1は校歌の歌詞です。3番までの構成で、作詞者は余市町の宮澤さんです。資料2は校章デザインです。モチーフとしたものは②の欄に記載（北陵のHの文字・ガス灯・翼）されております。デザイン製作者は青森県弘前市の工藤さんです。次に、新しい学校づくりの関係資料です。資料3を御覧ください。北陵中学校のランドデザインですが、この資料3は昨年（2019年）の第9回定例会でお配りしております。この資料の中段に、「知の柱」「徳の柱」「体の柱」とあり、それぞれの柱の取組例については、三つ下の緑色の囲み部分に記載され、等々としております。昨年の9月以降も学校づくり部会を中心に北陵中学校の特色ある取組について、検討を進めまして、この等々にあたる部分を肉付けする、三つの柱をそれぞれ骨太にする考えで進めました。資料4を御覧ください。タイトルは、北陵中学校ランドデザインの具体となっております。上段の囲みには、まず、校訓として「よりよく創る」としてあります。また、教育目標を「小樽の未来をつくる 北陵生の育成」とし、その下に「深く学び、考え、表現できる生徒」「豊かに人とつながり、思いやりのある生徒」「たくましく心身を鍛え、自らを律する生徒」という人づくりの目標も設ける考えです。次に、三つの柱の具体的な取組ですが、それぞれの柱に「学校の取組」「家庭の取組」「地域の取組」に分けて記載しています。考え方としては、全ての取組を学校だけでやるのではなく、家庭が中心になる取組、地域が中心になる取組、そのようなイメージで記載されています。本日は、取組の詳細の御説明は省略させていただきます。北陵中学校は、来年4月に開校し、この資料の記載事項に沿って、具体の取組を進めていくこととしてありますが、当然、必要に応じて追加されることもあります。また、1番下の囲み

ですが、コミュニティスクール、連携型小中一貫校、土曜授業の導入については、北海道や本市の政策を受けて、今後検討としております。資料の説明及び報告は以上です。

林教育長 はい、ありがとうございます。報告第2号に関しまして、御意見・御質問等ございましたらお願いします。よろしいですか。

末永委員 学校の運営方針についてはこれでよろしいのですが、実際に地域と今の関係ある部分としては、学校に対する委員が4、5人各学校におり、学校にアドバイスをするという存在ですが、現実には年に1、2度学校の総合的な報告を聞くだけで、実際に運営する中には入り込んでいない、制度的にないです。そういう新しいものも取り入れてほしかったと思うのですが、校長からはそういう話はなかったのでしょうか。

学校教育支援室（適正配置担当） 北陵中学校でも、新しい学校づくりの土台ということで説明しましたが、今年の春に統合した学校、例えば手宮中央小学校、稲穂小学校については、将来的なコミュニティスクールを睨みつつ、統合協議会で地域の方、保護者の方も入って、これまでの統合協議会は、統合を目指しての会ですので、それ以降違う形で残して、地域の協力を得ながら、学校に色々アドバイスをしていただきながら、地域とともに学校が育っていければということで、その小学校はやっております。今回につきましても、そういう考え方も実際に持っていて、来年4月統合時からやりますと書ききれなかったのですけれども、当然それを視野に入れて、地域の協力体制のある中で、そのまま継続して、そういった体制を維持していきたいという考え方になっていますので、それを書ききれないというところはあります。

末永委員 道や市の教育政策を受けて今後検討というのは、やりませんというふうに読めるわけですね。意欲があれば、そういう形での新しい学校での何か新しい動きを見せていただきたいなと思って読んでいました。感想です。

林教育長 そうですね。運営協議会ができると、相当地域の方々が学校運営に絡んでくるので、そこも視野にいろいろと今協議していただいているところですので、市教委としてもそういう取組を応援していくことは必要になってくると思いますので、この学校だけではなく、いろいろなところに波及させていきたいと思っています。

末永委員 土曜日も授業する学校だと言うと、越境して入ってくる人がいるかもしれないですね。

林教育長 そうですね。
他にありませんでしょうか。

小澤委員 校歌の件ですが、先程37作品の応募があったということですが、十分協議いただいてこの結果になったのですから、そのことは尊重すべきだと思います。ただ、第三者的に見たら、

他の作品よりこれが優れたものだということが十分説明できるような内容になっていないと、皆さんのせつかくの思いが広く伝わらないかもしれない恐れを、ちょっと感じたものですから、その点の準備を十分にさせていただきたいと思っております。私の感想ですが。

学校教育支援室主幹（適正配置担当） 審査にあたりましては、この③（応募者の情報）の部分、デザインもそうなのですが、これを全て最後の最後まで隠しまして、選ばれた後に発表ということで、当然みなさんの御議論の中で、多くの作品を事前に全て読み込んで頂いて、その中で、部会で喧々諤々出して頂きながら、一番優秀な作品が選ばれたという形です。小澤委員のおっしゃることは当然だと思いますが、もちろん皆さん分かった中で選ばれたということではありません。当然そういうふうに言われることもあると心に留めながら、学校にもこういう良い作品が選ばれたというところと言えるように、私どもも注意していきたいと考えております。

小澤委員 一つ希望するのは、②（「歌詞に込めた意味や思い」の欄）のところの「本校」というところを「北陵中学校」としていただけると…。

林教育長 御指導ありがとうございます。
他に御質問等はありませんでしょうか。よろしいですか。
それでは、報告を終了させていただきます。
次に、その他の報告です。まず市議会第3回定例会の件につきましてお願いします。

その他 市議会第3回定例会について

工藤部長 それでは、お手元の資料で、平成28年度小樽市議会第3回定例会につきまして、御報告申し上げます。

1ページめくって、目次を御覧ください。今定例会では、代表質問につきましては、1名の議員から、次期学習指導要領について、2点目として通級指導について、3点目として中学校の部活動休養日についての3項目の質問がありました。詳細につきましては、1ページから3ページに記載のとおりとなっております。

一般質問につきましては、2名の議員から「中央・山手地区の中学校の再編について」、「小樽商業高校、小樽工業高校の再編による新設校について」、「日本遺産について」の3項目の質問がありました。詳細につきましては、3ページから12ページに記載のとおりとなっております。

次に13ページになりますが、予算特別委員会では、2名の委員から「中央・山手地区統合中学校に係る教育委員会の役割について」ほか3項目の質問がありました。

総務常任委員会では、2名の委員から「柔道の体育授業の安全対策について」ほか3項目の質問がありました。次に、1ページめくっていただきまして、学校適正配置等調査特別委員会におきましては、教育委員会から、適正配置に関する現在の取組状況を報告した後、質疑を行いました。主な内容といたしましては、「中央・山手地区統合中学校」再編を中心に、

学校の跡利用や、バス通学助成などについて質問がありました。なお、各委員会の詳細につきましては、現在取りまとめ中ですので、取りまとめ次第、送付させていただきたいと考えております。以上でございます。

林教育長 それでは、ただいまの説明に関しまして御質問・御意見等ありますか。よろしいですか。

各委員 (特になし)

林教育長 それでは、このとおり決定します。
続きまして、寄附採納についてお願いします。

その他 ・ 寄附採納について

教育総務課長 寄附採納が5点ありましたので、御報告いたします。

1件目は近藤様から図書「世界の街角のふくろう」を市内小中学校に1冊ずついただいたものです。近藤様は本州に在住の方ですけれども、趣味で集めたふくろうの工芸品の写真集を出版されたことから、このたび小樽市在住の知人の方を通して寄付の申し出があったものです。

2件目は朝枝様から8月29日に、1万円を交通災害遺児奨学資金基金に寄付いただいたものです。この基金は、朝枝様のお父様から生前にいただいた御寄付を基に設立されたものであり、その意志を引き継いで、毎年、寄付いただいているもので、今回で28回目となります。市議会第4回定例会にて補正し、基金に積立てる予定でございます。

3件目は匿名の方からになりますが、9月1日に稲穂小学校へ学校が希望する図書185冊40万円相当をいただいたものです。

4件目は村上様から9月14日高島小学校温水プールに小型脱水機をいただいたものです。村上様は障がい者の方々の指導するプール利用者の方であり、古い脱水機の状況を見て、寄付を申し出てくださったものです。

5件目は市内の異業種交流団体である一商幸樹会様から9月28日に5万円を奨学資金基金に寄付いただいたものです。こちらも毎年いただいております。今回で22回目となります。市議会第4回定例会にて補正し、基金に積立てる予定です。

以上でございます。

林教育長 ただいまの説明に関しまして御意見・御質問等ありますか。

それでは、報告第5号を終了します。

それでは、ただいまから非公開の審議に入りますので、傍聴されている方がいましたら、退席をお願いいたします。

<非公開の審議開始>

報 告 第 3 号 平成 2 8 年度全国学力・学習状況調査結果等について

学校教育支援室主幹（指導担当）から、平成 2 8 年度全国学力・学習状況調査結果等について報告し、全委員が了承した。

<非公開の審議終了>

林教育長 以上をもちまして、教育委員会第 8 回定例会を終了いたします。